

令和3年度「スクール読書チャレンジ運動」実践報告書

学校名	多久市立東原庫舎東部校 児童数 314人	担当者名	荒木智子 渡辺暢子
住所	郵便番号 846-0012 佐賀県多久市東多久町大字別府3182	電話番号	0952-76-2002

◆ご提出いただいた個人情報は、本事業のためのみに使用し、それ以外の目的に使用することはありません。なお、県における個人情報の取扱いについては、佐賀県プライバシーポリシー及び行動プログラム (<http://www.pref.saga.lg.jp/web/privacy/privacypolicy.html>) に定めています。

I.取組前の宣言内容

宣言	目標	みんなで たのしく 読書に親しもう！
	取組期間	令和3年 4月 6日 ~ 令和3年 11月 30日

※令和3年4月1日以降、各学校が取組みを始めた日から、令和3年11月30日までの取組みとする。

II.取組後の評価

評価	取組人数	371人	実施日数	144日	読書冊数	32713冊	連携した団体数	2団体
	取組内容(概要)	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館まつり(夏)…ログインボーナス、しおりコレクション、くじ ・読書週間クエスト(秋)…スタンプラリー、たんけんクイズ、POP作成 ・環境整備(書架サイン・館内地図の作成、委員会活動によるポスター掲示など) ・年間目標冊数の設定 ・読書の星 ・読書ノート ・読み語り(11月から再開) 						
	工夫したこと	<p>【図書館イベント】「図書館まつり」や「読書週間クエスト」など楽しく参加できるイベントを実施した。中でも図書館まつりの内容は、学習委員会の児童生徒が自主的に考えながら実行し、みんなで協力して楽しそうに取り組む様子が見られた。</p> <p>【目標冊数達成に向けて】貸出冊数による読書の星、利用者カード更新、しおりプレゼント、読書ノートの活用、クラス毎の貸出冊数一覧の掲示など、楽しみながら年間目標冊数達成を目指せるように取り組んだ。</p> <p>【環境づくり】書架のサインを分かりやすくし、館内地図を作成、日頃から分類番号を目にすることで、NDCを身近に感じてもらえるようにした。また、季節の展示やSDGsなど、身の回りのできごとと読書・図書館を結び付けられるようなコーナーづくりを心がけた。</p>						
	取り組んだ感想	<p>昨年度と比べると貸出冊数や目標冊数達成者も増えた。また、NDCに触れて書架の位置を覚えていたり、自分達で本を探すことができるようになったりする姿が見られ、児童生徒の成長が感じられる。これからも楽しみながら図書館の利用の仕方を覚え、読書に親しんでほしい。</p>						
	これまでの取組や今後の取組予定	<p>これまでも図書館まつりや学習委員会の図書当番などの取り組みはあったが、今年は特にみんなで取り組む一体感が感じられた。今後の予定としても、生徒自ら「いろんな種類の本を読めるように」と図書館スタンプラリーを実行予定であり、NDCも浸透しているようでうれしく思う。11月からは地域ボランティア「サザエさんクラブ」による読み語りも再開したので、児童も喜んでいる。</p>						



みんなで たのしく 読書に親しもう！



今年度は児童生徒による学習委員会活動の基本方針が『学べる環境を作り、学習と読書に親しもう！』だったので、読書チャレンジの目標も『みんなで楽しく読書に親しもう！』とし、1年生から9年生までみんなが読書に親しめるような環境づくりを目指して取り組んだ。

【図書館まつり2021夏】

5/31～6/11

学習委員の児童生徒が、感染症対策をしながらできることを考え実行した。みんなで協力して楽しそうに取り組む姿が見られた。

- ① ログインボーナス週間（5/31～6/4）
…この間に本を借りてポイントを集める。
- ② 東部しおりコレクション（5/31～6/10）
…自分だけの「しおり」が作れる。
しおりは図書館前に掲示した後、作った人へ返却。
- ③ 図書館くじ（6/7～6/11）…①と②で集めたポイントの数によって、お楽しみくじを引ける（最大3回）。
 - ・くじ引きの日は学年毎に分け、決まった日の昼休みに行った。
 - ・図書館利用者と分けるため、くじは別会場（多目的室）にて学習委員が対応。
 - ・分散して机を設置してスペースを広く取ったり、消毒液を設置したり、感染症対策も考えた。



教室の外でくじの順番待ち



一人ずつくじを引く



プレゼントをもらう

【読書週間クエスト】 10/27～11/9

秋の読書週間に合わせた読書推進の取り組み。各ミッションをクリアすると、プレゼントがもらえる。特に盛り上がったのは「図書館たんけんクイズ」。ハロウィンの時期だったので、書架にハロウィンのいろいろなイラストを貼り、それを探し当ててもらった。また、三択クイズを用意し、分からなかったら図書館の本で調べるように案内した。NDCと調べ学習を身近に感じることができた。

- ①図書館に行って本をかりよう！（クリア➡プラス1冊券）
- ②図書館たんけんクイズにチャレンジしよう！（クリア➡論語しおり or ブックトラッカーしおり）
- ③おすすめ本のPOPをつくろう！（クリア➡新しい本2冊貸出券（1～4年生）ブックカバー（5～9年生））



「図書館たんけんクイズ」イラストを探して、その書架の分類番号を答える。いくつかイラストがあるので、見つけた時にはみんな喜んでいました。



「論語しおり」多久市は論語教育に力を入れている。好きな論語が書いてあるしおりを選んでいく子や「この論語はカルタ大会でがんばってとる！」と意気込む子などもいた。
「ブックトラッカー」クリアファイルとマスキングテープで作成。「集中して読める」と好評。



「みんなのPOP」
みんなの新しいPOPで本を紹介してくれていた。図書館前に掲示しているので、他の人がかいたPOPを読んでいる様子も見られる。



【目標冊数達成におきて】

各学年で、目標冊数を設定している。

○1・2年生…150冊 ○3・4年生…130冊 ○5・6年生…100冊 ○7・8・9年生…30冊

- ・「読書ノート」の活用、クラスごとの貸出冊数一覧の掲示などでどのくらい本を読んでいるか分かるようにしている。
- ・「読書の星をあつめよう」貸出冊数に応じて星のシールを利用者カードに貼る。子どもたちは星が増えていくのを喜んでいる。楽しみながら読書冊数を増やしてほしい。
- ・目標冊数達成者へ「賞状」「しおり」「プラス1冊券」を渡している。



【環境づくり】 1～9年生みんなでたのしく読書に親しめるような図書館を目指して



ピクトグラムによる書架サイン

『教科書の本コーナー』学年ごとに色分け



学習委員による『図書館ルール』ポスターの掲示



感染症対策を『注文の多い図書館』として入口に掲示



7年生「おすすめの本を紹介します」



4年生「低学年におすすめの本」

【読書チャレンジを振り返って】

貸出合計冊数	
2020年	31,256冊
2021年	32,713冊

R3.11.30

貸出平均冊数	
2020年	100.8冊
2021年	103.9冊

R3.11.30

目標冊数達成者	
2020年	177人
2021年	181人

R3.11.30

昨年度と比べると、貸出冊数の合計も平均も上がり、目標冊数達成者も増加している。NDCも浸透してきたようで、本を探している時に「5の棚にあるよ」の声かけでも分かるようになってきた。自分で目的の本を見つけられることも増えてきた。また、今後の取り組みとして、12月の学習委員会の目標では「たくさんの種類の本を読んで学習しよう」という案が児童生徒から出てきた。そのためのスタンプラリーも自分達で準備している。自主的な活動を見ることができてうれしく思う。これからも、みんなで楽しく読書に親しんでほしい。